

カパル設立記念大会・第1回研究大会プログラム簡易一覧

| 時間/会場       | A会場 (3階大会議室)  | B会場 (3階中会議室)  | C会場 (3階小会議室II)                                      | D会場 (2階セミナー室)   | E会場 (2階東南亭)   |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 10:30-11:00 | 開会式   |   |   |   |   |
| 11:00-11:30 | A1【ミニパネル1】<br>佐藤百合 (ジェットロ・アジア研)<br>Indonesia's Democratic Deconsolidation under the Jokowi Administration: Regional and Global Contexts   | B1 民族語・民族意識の帰趨<br>福岡まどか (大阪大学)                                    | C1 長短期の気候環境変動<br>水野広祐 (京都大学)                        | D1 組織と権力をめぐるダイナミズム<br>Dynamism of Organization and Power<br>加納啓良 (東京大学名誉教授) | E1 新たな知と方法論の試み<br>田中耕司 (京都大学名誉教授)   |
|             | 1 外来文字の借用による民族語継承の試み—ブトン島に生きるチアチアの実践—   | 1 インドネシア「海大陸」の長い海岸線が制御する世界の気候                                     | 1 インドネシアにおける泥炭地火災と環境影響評価                            | 1 インドネシア闘争民主党中央組織の発展  | 1 中部スラウェシ・サマ人の漁撈知—時空間利用の技術に着目して—  |
| 11:30-12:00 | 1. Fighting Illiberalism with Illiberalism: Islamist Populism and Democratic Deconsolidation in Indonesia<br>2. Revival of Extra-judicial Killings as Governance: Jokowi's War on Drugs | 2 インドネシアの民族 (suku) 意識の行方  | 2   | 2 Revival of Monarchy Power and the Current Land Grabs in Java              | 2 土地利用変化を研究するための新資料—南・南東スラウェシ州の事例から   |
| 12:00-13:00 | 昼食  |   |   |   |   |
| 13:00-14:45 | カパル設立記念講演会<br>3世代が語る〈わたしのインドネシアとインドネシア研究〉   |   |   |   |   |
| 15:00-15:30 |   | B2 社会保障、地方自治、自助組織<br>林田秀樹 (同志社大学)                                 | C2 宗教の思想と実践<br>小林寧子 (南山大学)                          | D2 文化とイメージのポリティクス<br>貞好康志 (神戸大学)  | E2 災害と難病をめぐって<br>大橋厚子 (名古屋大学)   |
|             |   | 1 分権化後のインドネシア地方自治体における政策革新とその波及—公務員報酬の透明化への取り組みを中心に—              | 1 それを「アバンガン」と呼ぶべきなのか?—東ジャワ州スラバヤにおけるジャワ的な「宗教」実践について— | 1 ポスト・スハルト体制期インドネシアにおける父子表象—1998年以降の劇映画を中心に—                                | 1 ジャカルタの歴史的月間雨量データと洪水履歴の分析—水害発生と人口過密化への影響の推定—                               |
| 15:30-16:00 |   | 2 保険と不確実性の人類学—インドネシア社会保障制度の成立過程—                                  | 2 イスラームの喜捨の現代的再構築—インドネシアにおけるザカート再活性化と高まる双方向性—       | 2 文化表象のポリティクスと「遺産化」—西ティモールの伝統織物の事例から—                                       | 2 オランダ語史料の地震記録と震度階を合わせ読む—植民地期インドネシアの歴史地震研究—                                 |
| 16:00-16:30 |   | 3 インドネシア人移住労働者による帰還後の自立に向けた取り組み—東ジャワの2組織の事例—                      | 3 現代インドネシアにおけるイスラーム保守思想の形成—INSISTSとアル=アッタースの思想から—   | 3 Mari berlibur ke Jepang, yuk!—インドネシア人訪日誘致促進を通じた日本イメージの変化—                 | 3 西ニューギニアに多発する神経難病—グアムと紀伊半島との比較—  |
| 16:30-16:45 | 休憩  |   |   |   |   |
| 16:45-17:15 |   | B3 水産分野の移民労働者と帰還<br>北村由美 (京都大学)                                   | C3 表現と変容<br>森山幹弘 (南山大学)                             | D3 小農と商品作物栽培<br>笹岡正俊 (北海道大学)  | E3 インドネシアと東ティモール独立<br>Indonesia and East Timor Independence<br>青木恵理子 (龍谷大学) |
|             |   | 1 インドネシア人海外移住労働者が構築するネットワーク—日本の水産加工分野で働く女性たちに注目して—                | 1 ワヤン・ポテヒの上演形式                                      | 1 スマトラ東海岸におけるピンロウの商業的栽培とその盛衰—1920-70年代のマレー半島・インドと関連づけながら—                   | 1 インドネシアと東ティモール—反体制連携運動にみるナショナルリズムの醸成—                                      |
| 17:15-17:45 |   | 【ミニパネル2】<br>インドネシアにおける移民労働の社会経済的意味—漁船員の事例—                        | 2 戦時文学の一表現「散文精神」—日本占領下インドネシアの武田麟太郎とイドルス—            | 2 焼畑先住民のアブラヤン依存脱却プロセス—東カリマンタン州におけるダヤック人の変わりゆく生計戦略から—                        | 2 「ねずみの道」の国民たち—東ティモールオエクシ県国境地帯の人と物の移動—                                      |
| 17:45-18:15 |   | 1. 「インドネシア最大の海外出稼ぎ漁船員の村」にみる国際移動とその帰結<br>2. 台湾でモスクを建てたインドネシア人移住労働者 | 3 インドネシア音楽の都市性—ジャンル支配の変容と脱却からみるバンドンの興亡—             | 3 ミナンカバウにおける森林開拓の連続性—西スマトラ州パシシル・スラタン県におけるガンビール耕作の事例から—                      | 3 Timorese Citizens in Indonesia  |
| 18:15-18:30 | 懇親会会場へ移動  |   |   |   |   |
| 18:30-20:30 | 懇親会   |   |   |   |   |